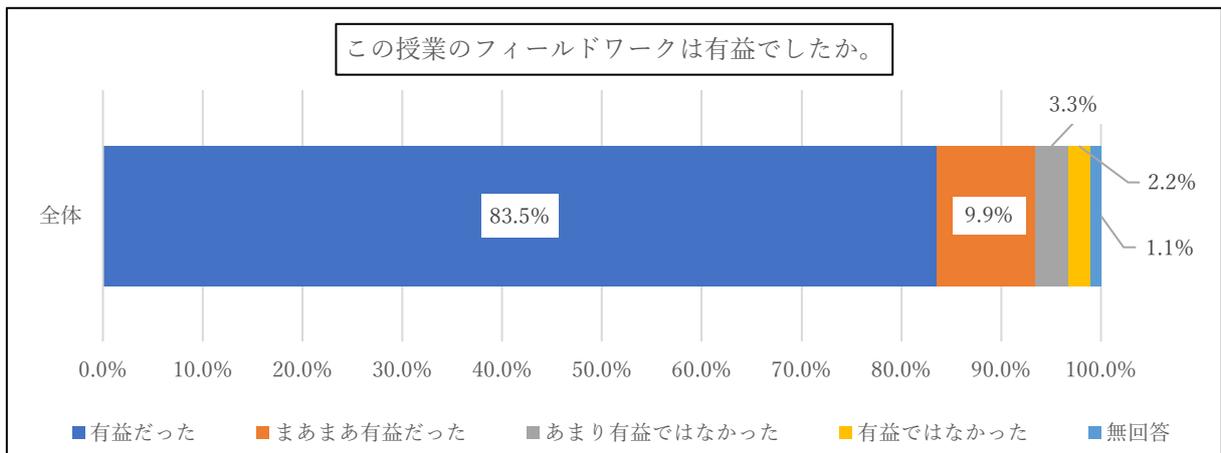
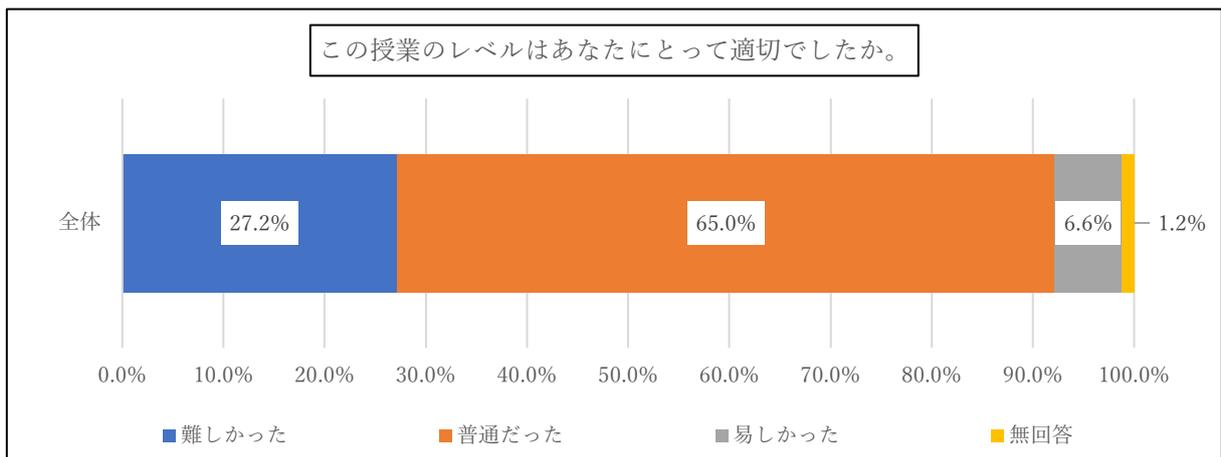
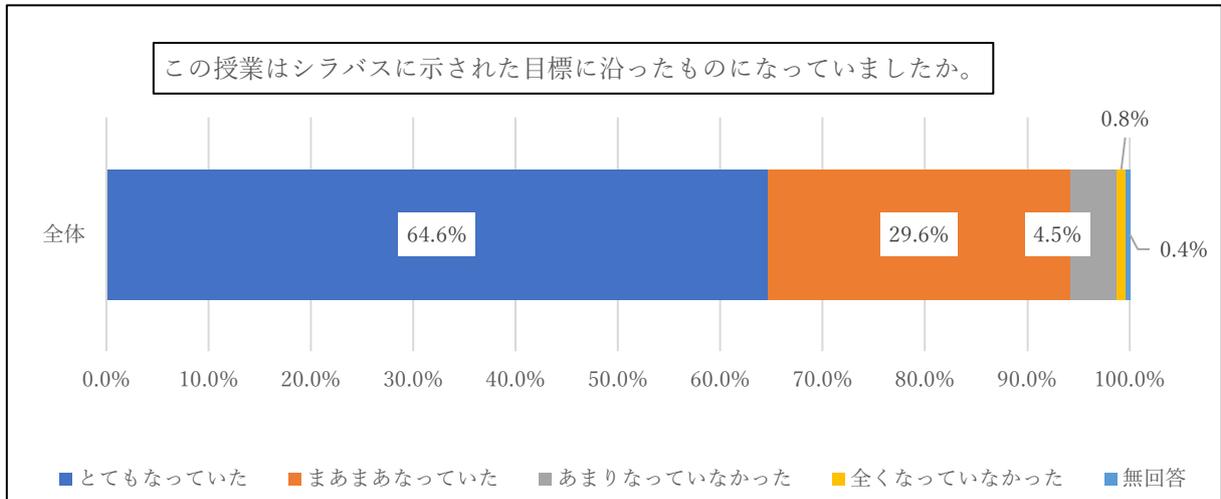
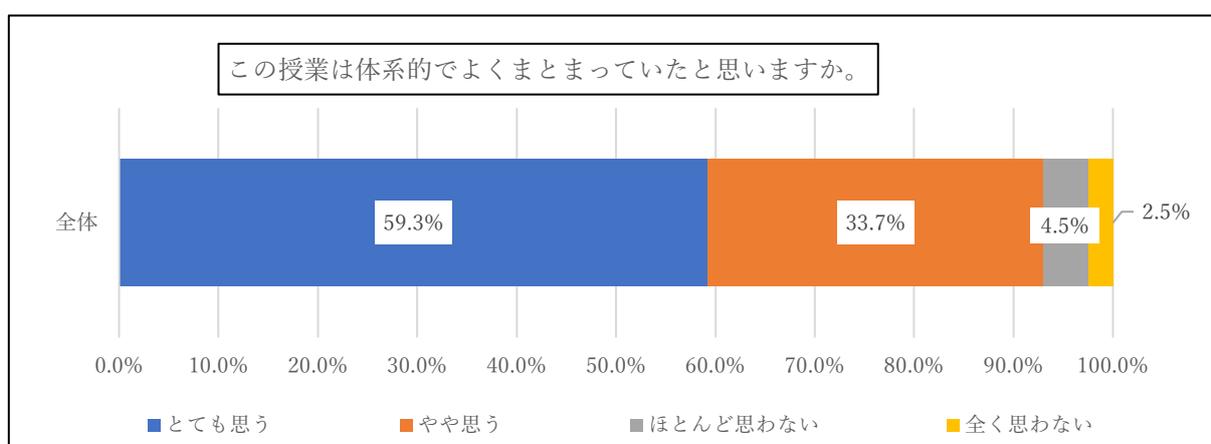
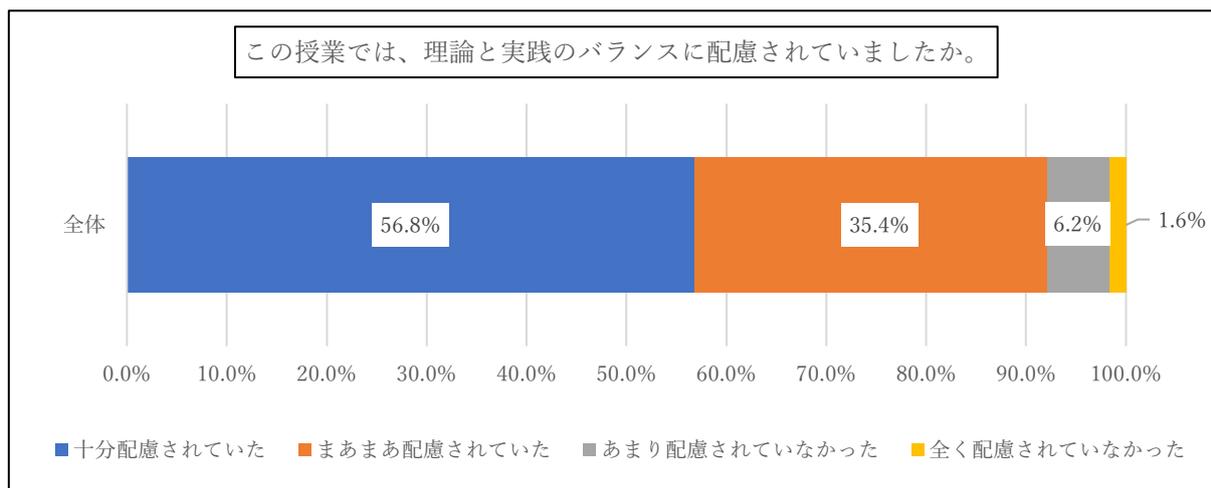


2021 年度秋学期「授業アンケート」

授業アンケートの結果

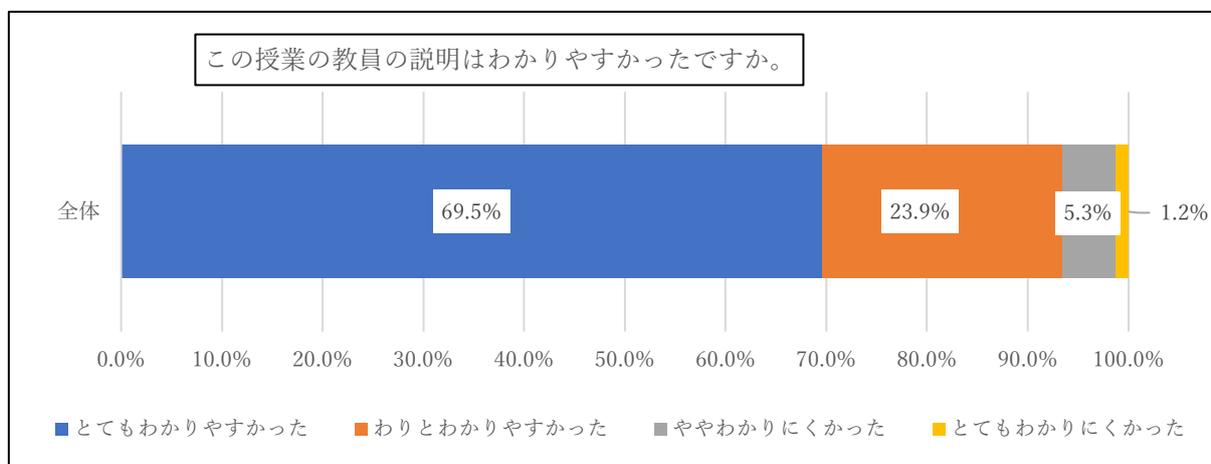
(1) 授業内容について

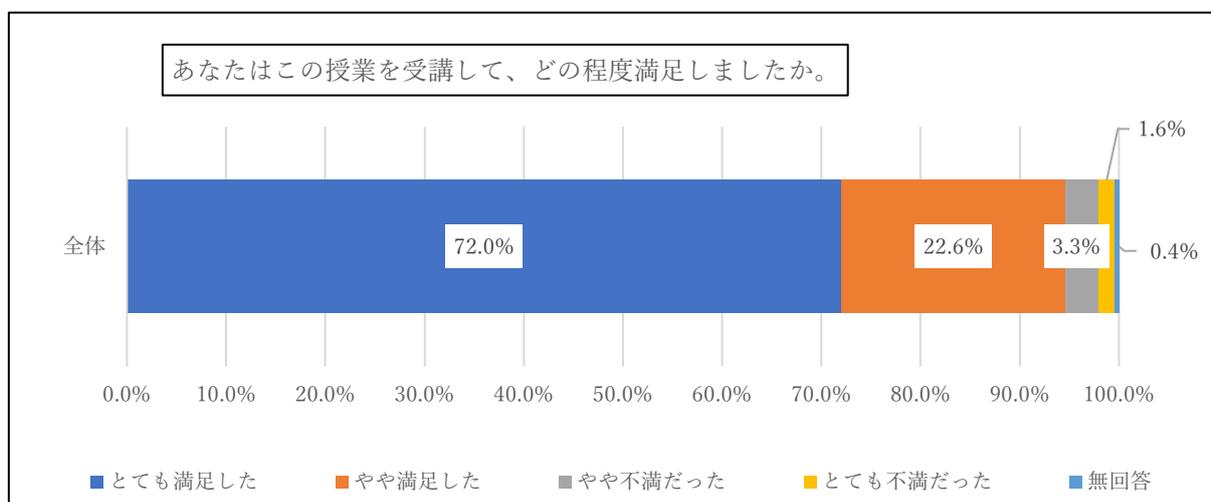
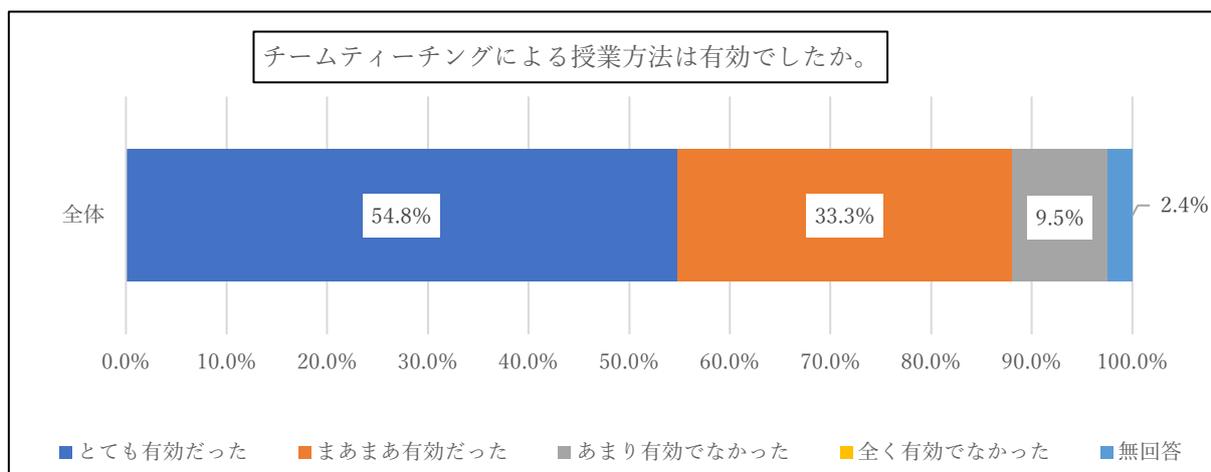
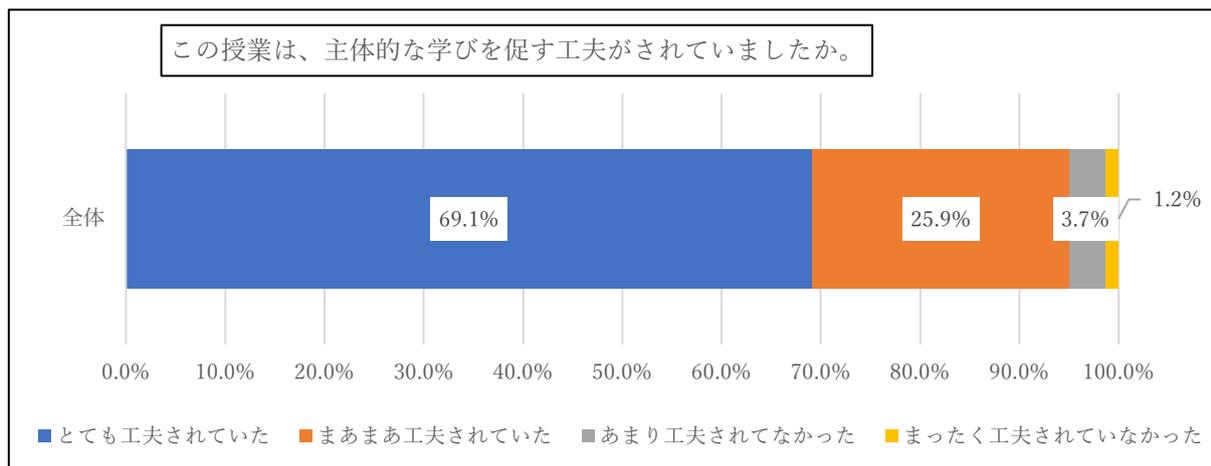




「授業内容について」は、肯定的な回答が9割程度であり、前年度までの改善傾向がおおむね良好な状態が維持されている。特に、フィールドワークについて「有益だった」との回答は、2019年度・2020年度の6割台から、2021年度は春学期と同様に8割台へと大幅な改善が見られた。一方で、否定的な回答が各設問で5%前後あり、引き続き受講生のニーズに応えるよう努める必要がある。

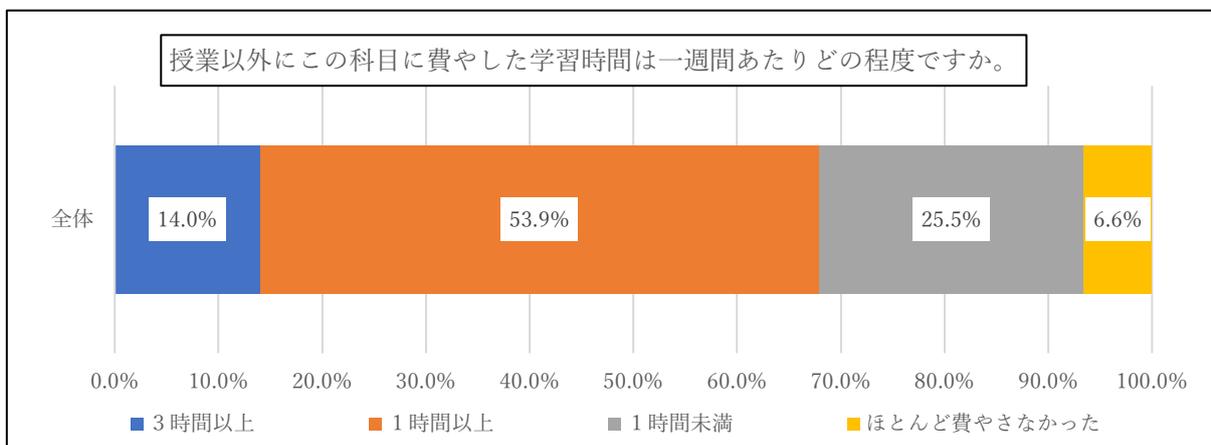
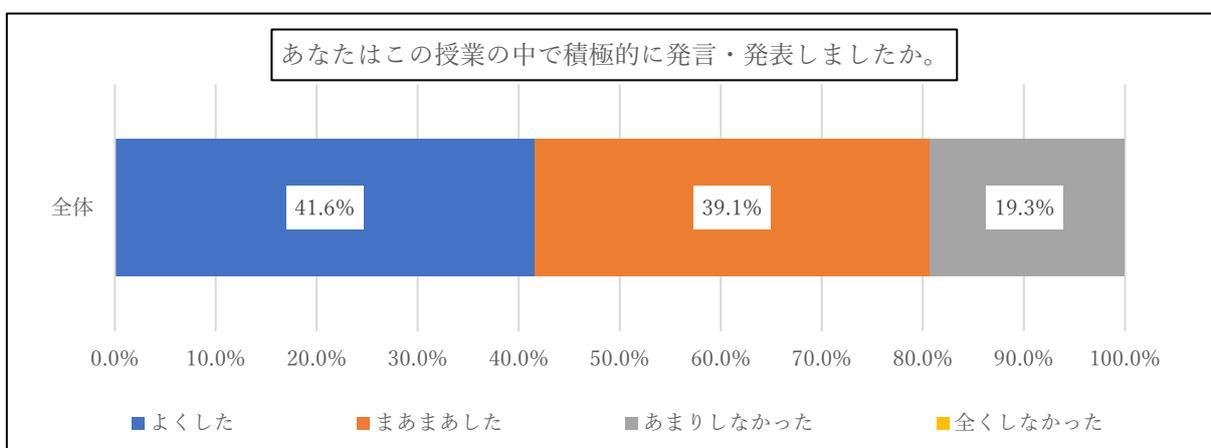
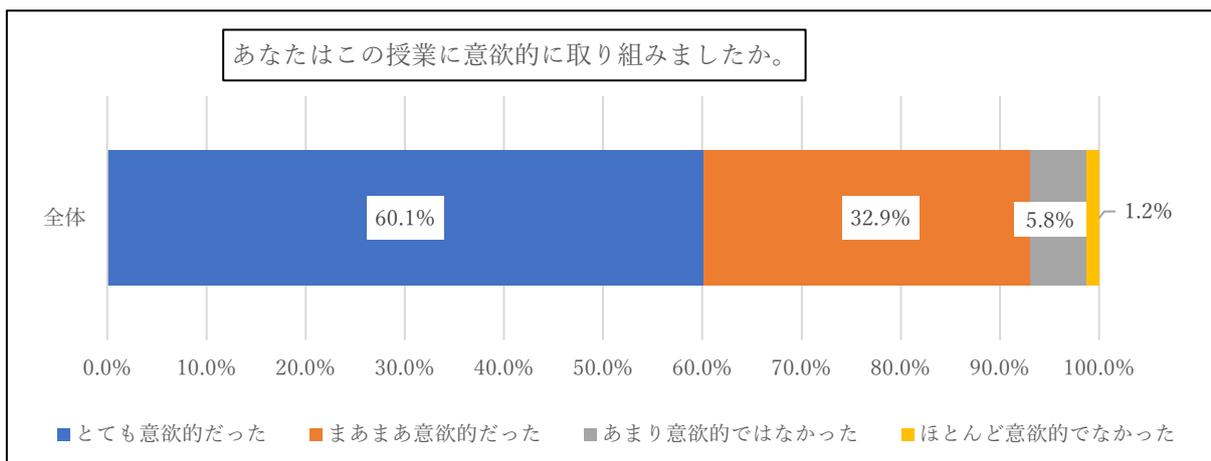
(2) 授業の進め方について

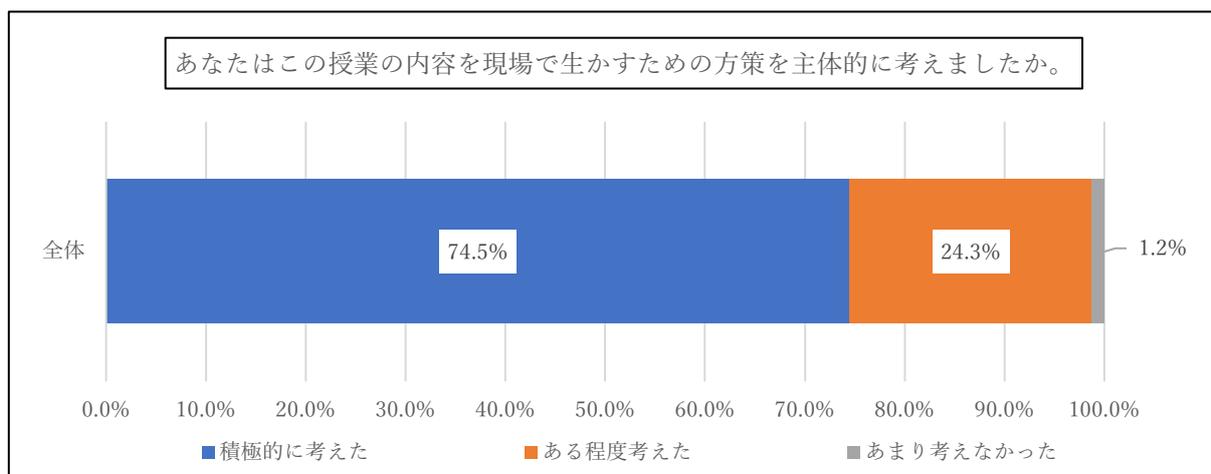
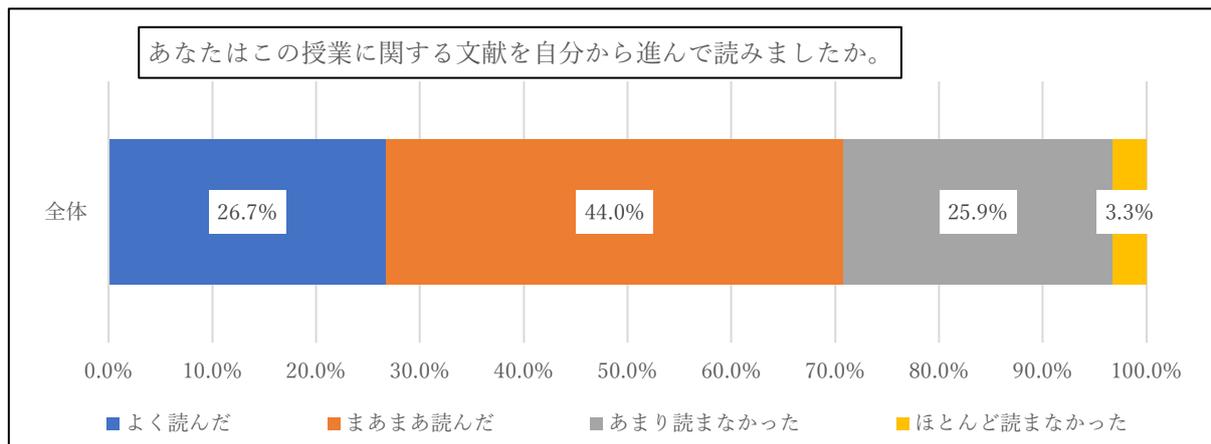




「授業の進め方について」も、肯定的な回答の割合が9割程度に達している。昨年度に改善した項目ではその水準が概ね維持されており、主体的な学びを促す工夫や授業の満足度についてはさらなる改善が見られた。ただし、チームティーチングの有効性については一昨年度及び昨年度の水準を下回る結果であった。また、それぞれの設問において、1割弱の割合で否定的な回答が見られることから、引き続き授業展開の改善・工夫に取り組む必要がある。

(3) 受講生の取組について





「受講生の取組について」は、2020年度に大幅な改善が見られたが、2021年度も改善傾向が継続している設問が多い。特に、授業内容を現場で生かすための方策を主体的に考えることについては、積極的に考えたとの回答割合が7割台になり、2019年度の5割台、2020年度の6割台から大きく伸びている点が特筆される。ただし、授業以外での学習時間及び授業に関連する文献を読むことについてはさらなる改善を目指し、主体的な学びを育む工夫と環境整備に取り組むことが求められている。